



人は、企業は、コロナウイルスにどう向き合うべきか

「聴く防災手帳～新型コロナ対策編～」

ラジオNIKKEI第1にて 全4回放送

4月27日(月)・28日(火)・5月11日(月)・12日(火) 12:15～12:30

ラジオNIKKEIは、猛威をふるう新型肺炎の感染を人と企業はどう防ぎ、どう対処すべきかを専門家にインタビューする特別番組「聴く防災手帳～新型コロナ対策編～」を、4月27日(月)・28日(火)5月11日(月)・12日(火)の12時15分から、全4回シリーズでお送りします。

第1回は、ゴールデンウィークの新型コロナ対策と医療の最前線について、国立国際医療研究センター病院国際感染症センターの大曲貴夫センター長と、国立大学法人東京医科歯科大学感染制御部の貫井陽子部長に現場の状況等を詳しく解説していただきます。

第2回は、感染症対策について、東邦大学看護学部感染制御学の小林真詰教授にうかがいます。

第3回は、防災の観点からの調査・それに対する提言を、兵庫県立大学環境人間学部の木村玲欧教授と東京大学大学院都市工学専攻の廣井悠准教授にお話しいただきます。

第4回も、兵庫県立大学の木村玲欧教授と東京大学の廣井悠准教授が、リスナーの質問・反響に対してお答えします。

放送後には、番組を収録したCDや、提供・制作協力の防災専門店MT-NETの非常用トイレ等を抽選でプレゼントいたします。

■「聴く防災手帳～新型コロナ対策編～」番組情報

- 放送日時 : 全4回放送
4月27日(月)・28日(火)・5月11日(月)・12日(火) 12時15分～12時30分
- 放送メディア : ラジオNIKKEI第1/ラジコ
※ラジコのタイムフリーで放送後も1週間お聴きいただけます
(再生をはじめてから24時間以内に、合計3時間分まで)
- 聞き手 : ラジオNIKKEIアナウンサー
- 番組ウェブサイト : <http://www.radionikkei.jp/bosai/>
- 提供 : 株式会社MT-NET



■出演者



大曲 貴夫（おおまがり のりお）

国立国際医療研究センター病院国際感染症センターセンター長

1997年佐賀医大(現・佐賀大学医学部)卒後、聖路加国際病院、米国テキサスヒューストン医科大学、静岡がんセンター、英国ロンドン大学等を経て、現職へ。

主な著書に、「在宅医療×感染症」、「抗菌薬コンサルトブック」などがある。



貫井 陽子（ぬくい ようこ）

東京医科歯科大学感染制御部長

東京大学病院等を経て、現在、東京医科歯科大学感染制御部長。

専門分野は感染制御学、感染症内科学など、研究領域は、耐性菌の疫学、細菌学的解析、新興・再興感染症。



小林 寅詰（こばやし いんてつ）

東邦大学看護学部感染制御学教授

保健学博士、東海大学医学部、国立国際医療センター等を経て、現在、東邦大学医学部看護学科感染制御学教授。

感染症や院内感染対策など感染制御学を専門とした研究に携わる。

主な著書に、「読めばわかる！耐性菌のお話し」、「はじめよう、看護の感染と防御」などがある。



廣井 悠（ひろい ゆう）

東京大学大学院都市工学専攻准教授

東京大学大学院都市工学専攻を経て、同大特任助教、名古屋大学減災連携研究センター准教授を経て、2016年より現職へ。

専門は、都市計画、都市防災、防災学。

主な著書に、「帰宅困難者対策 Q&A」、「知られざる地下街」などがある。



木村 玲欧（きむら れお）

兵庫県立大学環境人間学部教授

早稲田大学卒、京都大学大学院修了(情報学博士)後、名古屋大学大学院環境学研究科助手等を経て、現職。

専門は防災心理学、防災教育学。主な著書に、「災害・防災の心理学」、「超巨大地震がやってきた スマトラ沖地震津波に学べ」などがある。